

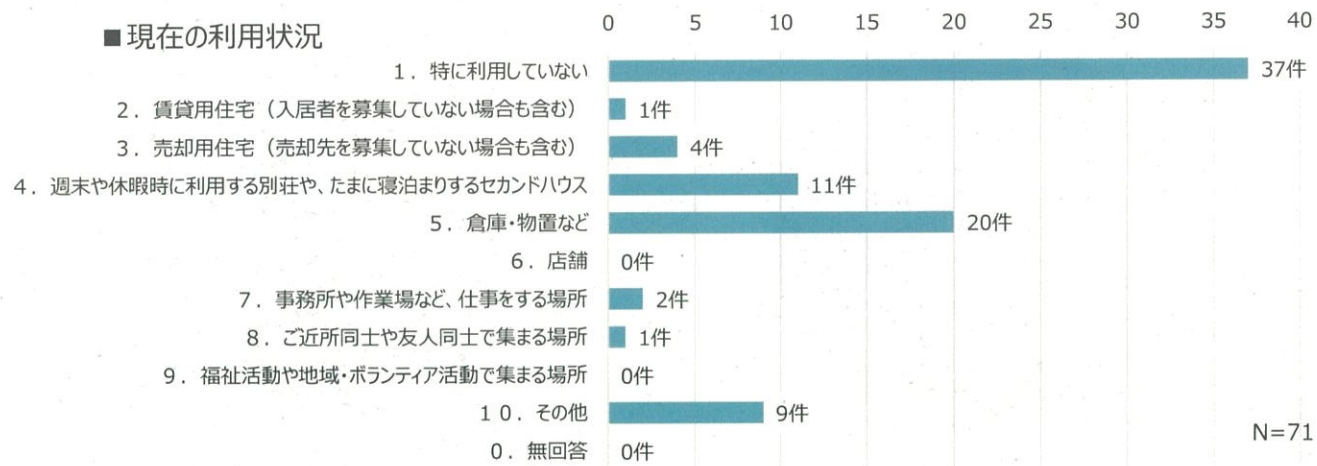
空家等の所有者に対する意向調査結果と今後の対応について

○空家等の所有者に対する意向調査結果（概要）

対象：R4現況調査にて新規に判明した空家等の所有者等(不動産業者を除く) 回収率：51.7%(78件)

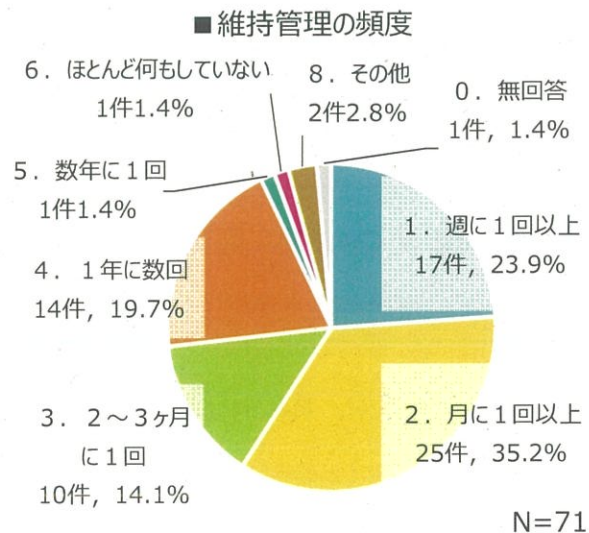
①空家は、現在どのような状態ですか。（2つまで）

- 空家の現在の利用状況として、「特に利用していない」が37件（52.1%）と最も多く、次いで「倉庫・物置など」20件（28.2%）、「週末や休暇時に利用する別荘や、たまに寝泊まりするセカンドハウス」11件（15.5%）の順で多くなっています。
- 「その他」の回答としては、「週1回見に来ている」、「住んでいないが毎日来ている」、「法事または仏壇の管理等」、「近隣に用事がある時に駐輪場として利用」等の回答がありました。



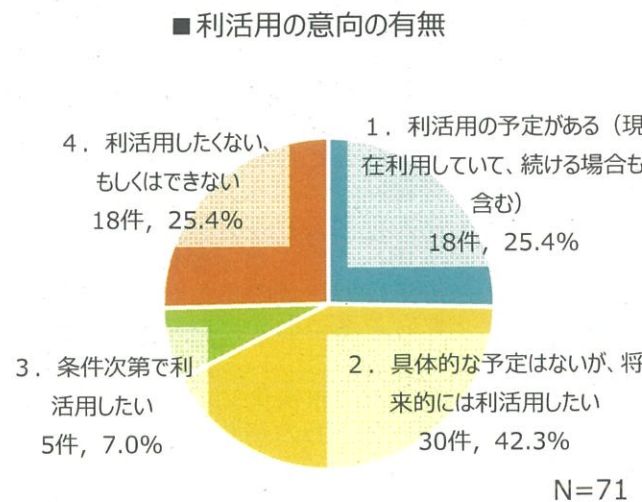
②建物や樹木・雑草等空き家の維持管理のために訪れる頻度は、どの程度ですか。

- 維持管理に訪れる頻度としては、「月に1回以上」25件（35.2%）と最も多く、「週に1回以上」が17件（23.9%）と合わせると約5割強の所有者等の方が月に1回以上の頻度で維持管理に訪れています。



③今後、空き家を利活用（売却を含む）したり、空き家を取り壊して跡地を利活用（建替えを含む）したりしていきたいと思いませんか。

- 空家の利活用の意向については、「具体的な予定はないが、将来的には利活用したい」が30件（42.3%）と最も多く、次いで「利活用の予定がある（現在利用していて、続ける場合も含む）」、「利活用したくない、もしくはできない」が18件（25.4%）、となっており、6割強の方に利活用の意向があります。
- 令和元年度の調査結果と比較した場合、同じような回答の傾向にあります。



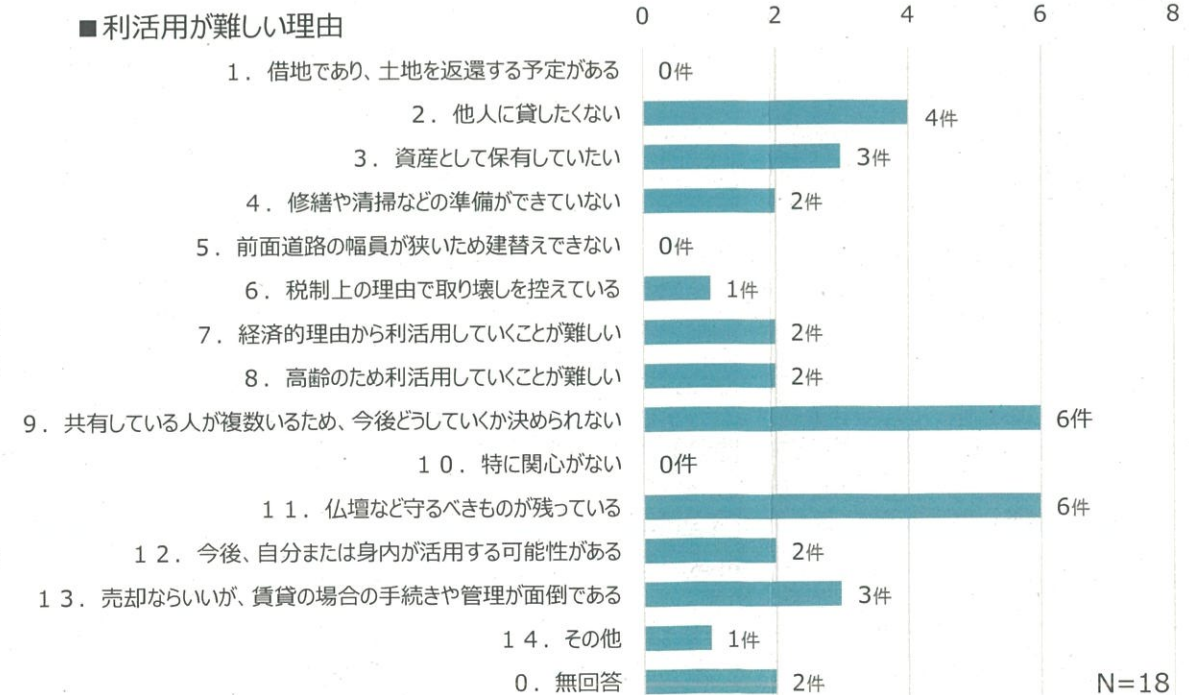
④（③で1～3と回答された方）どのように利活用したいとお考えですか。（3つまで）

- 問8で利活用の意向があると回答した方の利活用方針としては、「利活用の方針は決まっていない」が17件（32.1%）と最も多く、次いで「自分や子供、親族が住む住宅」が14件（26.4%）と多いです。
- 「その他」としては「計画や希望は具体的でない」、「売却予定」という回答がありました。
- 令和元年度の調査結果と比較した場合、「賃貸用または売却用の住宅」と回答した割合が減少した反面、「休暇時に利用する別荘や、たまに寝泊まりするセカンドハウス」、「倉庫・物置など」、の割合が増加しています。



⑤（③で4と回答された方）利活用したくない、もしくはできない理由は何ですか。（3つまで）

- ③で利活用したくない、またはできないという方の理由としては、「共有している人が複数いるため、今後どうしていくか決められない」、「仏壇など守るべきものが残っている」が6件（33.3%）と多いです。
- 「その他」としては、「寺院とのつながり、墓の管理（地域との共同作業）」という回答がありました。
- 令和元年度の調査結果と比較した場合、「資産として保有していきたい」、「修繕や清掃などの準備ができていない」、「共有している人が複数いるため、今後どうしていくか決められない」、「仏壇など守るべきものが残っている」の割合が増加しています。



○空家等の所有者に対する意向調査結果（概要）

⑥栗東市では、空き家を使ってほしい人、空き家を使いたい人のマッチング（出会い）をサポートする『りっとう空き家バンク』を「NPO法人くらすむ滋賀」に委託し、運営しております。

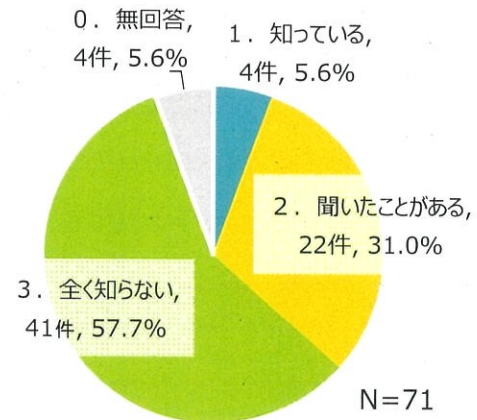
『りっとう空き家バンク』について、知っていますか。

・りっとう空き家バンクについての認知度については、「全く知らない」が41件（57.7%）で認知度は低くなっています。

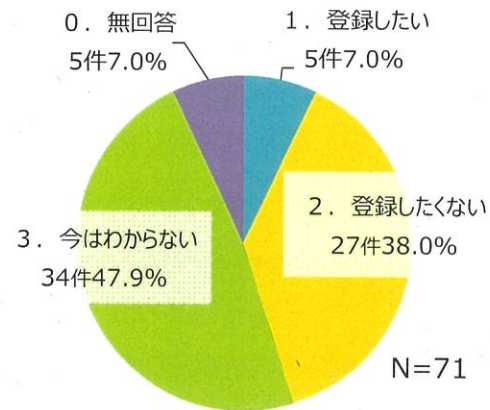
⑦空家等の利活用に向けて、所有する建物を空き家バンクに登録したいですか。

・所有する建物を空き家バンクに登録したいですかについて、「今はわからない」の回答が34件（47.9%）、「登録したくない」が27件（38.0%）とありました。

■りっとう空き家バンクについて



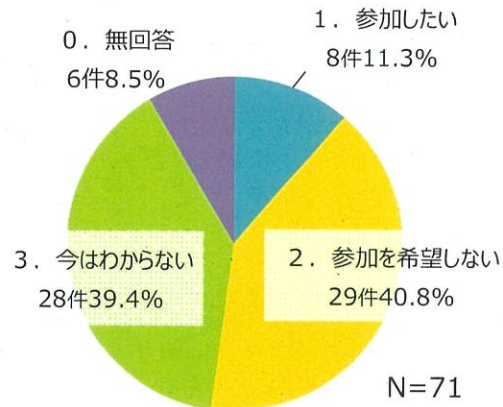
■空き家バンクに登録したいですか



⑧栗東市では、空き家で困らないための無料市民講座を令和5年3月11日（土）に開催します。専門家による、相続、登記、解体、耐震等や市による制度の説明をします。参加を希望しますか。

・無料市民講座参加希望について、「参加を希望しない」29件（40.8%）、「今はわからない」28件（39.4%）とありました。

■無料市民講座への参加



○課題と対応策

- ・栗東市の取り組みの認知度が低い一方で、情報提供を求めている所有者がいる。
⇒栗東市の取り組みを発信する機会を増やす等、情報発信力の強化。
- ・無料市民講座参加希望者の割合が低い。
⇒空家等に関する所有者への啓発活動の強化。
- ・維持管理については、多様な事情により困っている。
⇒維持管理に関する支援策の充実。
- ・利活用の希望はあるが、具体的な予定はない割合が高い。
⇒空き家になる前に、今後の家の方向性について考える機会の提供を行うなど、空家化の予防の推進

○市民講座「空き家で困らないために」(R5.3.11実施)について〈報告〉

・参加者17名

・実施内容

相続・登記について

【講師：辻 克樹氏(司法書士)】

空き家の利活用について

【講師：木村 敏氏(一級建築士)】

空き家の現状について

【栗東市住宅課職員より】

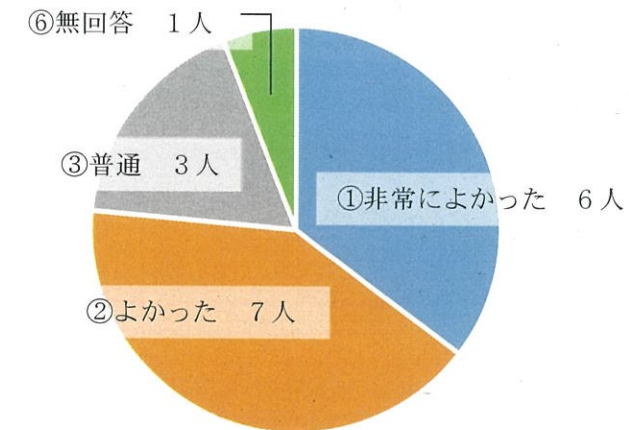
りっとう空き家バンクについて

【講師：谷田 えり子氏(NPO法人くらすむ滋賀)】

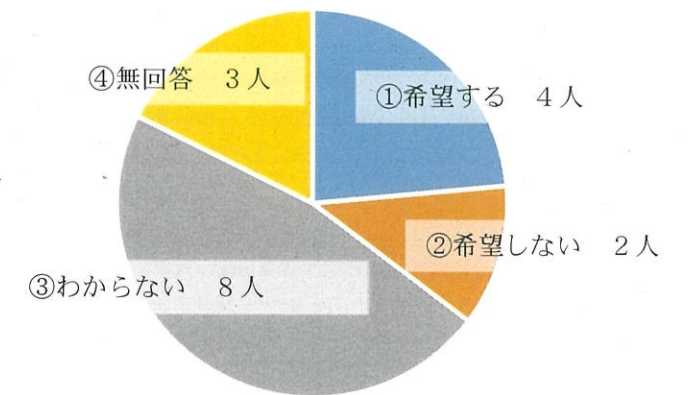
講演後、個別相談実施（3件：相続、りっとう空き家バンク、3000万円特別控除）

・参加者アンケート結果

本日の講座はいかかでしたか。



空き家の個別相談会を開催する場合、参加を希望しますか。



参加者の意見

- ・法改正することも初めて知ることができたし、色々なリノベーション事例等から参考になることもあったので大変ためになった。
- ・空き家の事で、理解を深められた。
- ・古い家の利活用をしたいので、ヒントを頂けた。
- ・空き家に関する様々な情報があった。
- ・相続・登記、リフォームについて、具体的な話が聞けて何かあれば相談してみようと思いました。
- ・基本のお話が聴取できた。
- ・各分野の専門家から説明がありよかった。
- ・知らないこともあったので勉強になりました。
- ・栗東市の取り組みが良く理解できた。
- ・必要な情報を知ることができたことに感謝しております。
- ・具体的に相談できる業者（適正価格、安心）が知りたかった。
- ・空き家の活用・売却に向けた課題は、1 家財整理・処分、2 前面道路の拡幅、3 活用（貸す）か売却かの判断 4 田や山林の処分を同時に行いたい。これらを総合的にご相談出来れば、有難い。
- ・高齢化により空き家だけでなく農地、山林等有効活用を市で積極的に取り組んで講座から支援へ、どんどん継続発展させていただきたい。
- ・市が縦型行政の印象が強いので、横型連携のPRをして、市民に働きかけてほしい。
- ・もっと多くの人に周知するべきだと思います。
- ・年に数回こういった講座を開催してください。
- ・栗東市の市街化区域、市街化調整区域があるとのことでしたが、具体的に該当するエリアがわかるものがあれば示していただきたかったです。